

令和3年度

第1回 豊田市上下水道事業審議会

(概要版)

令和3年6月28日

令和3年度 第1回豊田市上下水道事業審議会 会議録（概要版）

【日時】 令和3年6月28日（月） 午後1時30分～3時

【場所】 豊田市役所 南51会議室

- 【次第】
- 1 市長あいさつ
 - 2 審議会委員及び事務局紹介
 - 3 会長あいさつ
 - 4 会議録、資料について説明
 - 5 議事
 - (1) 令和2年度水道事業会計決算について【報告】
 - (2) 令和2年度水道水源保全事業特別会計決算について【報告】
 - (3) 令和2年度下水道事業会計決算について【報告】
 - (4) 新・豊田市水道ビジョンの改訂について【報告】
 - 6 その他連絡事項等
 - 7 事業管理者あいさつ

【出席者】 <委員>

竹内 信仁（名古屋大学名誉教授）	※会長
中山 恵子（中京大学経済学部教授）	※副会長
神頭 広好（愛知大学経営学部教授）	
松本 嘉孝（豊田工業高等専門学校准教授）	
藤嶋 伸一郎（豊田商工会議所：豊田信用金庫 副理事長）	
近藤 恭弘（豊田商工会議所第一工業部会部会長）	
杉本 敦子（豊田商工会議所女性会会長）	
宇野 晃（豊田市区長会理事）	
松原 秀敏（豊田市小中学校長会）	
石橋 博文（豊田加茂薬剤師会監事）	
野々山 輝美（あいち豊田農業協同組合女性部長）	
河合 久江（足助地域会議委員）	
鈴木 弘美（下山地域会議委員）	
城金 茂樹（公募委員）	
青木 厚子（公募委員）	

<事務局> 前田 雄治（豊田市事業管理者）
杉本 尚久（上下水道局局長）
成瀬 光明（上下水道局副局長）
下川 涼太郎（上下水道局総務課長）
澤田 亜紀（上下水道局経営管理課長）
岡田 政彦（上下水道局企画課長）
山本 直彦（上下水道局料金課長）
澤田 善之（上下水道局水道整備課長）
新實 三矢（上下水道局水道維持課長）
岩田 裕二（上下水道局上水運用センター所長）
堀江 莊平（上下水道局下水道施設課長）
竹村 浩一（上下水道局下水道建設課長）
新岩 康正（上下水道局企画課副課長）
金子 卓矢（上下水道局企画課担当長）
畑田 吉彦（上下水道局経営管理課副課長）
八木 衣絵（上下水道局経営管理課担当長）
藤村 正実（上下水道局経営管理課担当長）
播磨 有希子（上下水道局経営管理課担当長）
柳 富美夫（上下水道局経営管理課主任主査）
西口 隆洋（上下水道局経営管理課主査）

【欠席者】 <委員> 片桐 正博（豊田森林組合代表理事組合長）
古橋 久三（稲武地域会議副会長）

【傍聴者】 なし

【議事等の摘要】

1 市長あいさつ

- ・令和3年度第1回の豊田市上下水道事業審議会となります。ありがとうございます。
- ・新型コロナウイルスの感染予防に対して、本日薬剤師会の委員もお見えですけれども、御対応いただき、ありがとうございます。
- ・昨年の3月12日に一人目の方が感染されて3月は3人、4月が4人、5月1人、6月1人という状況でしたが、7月の半ばから急に感染者が増え、そんな中、水道料金の基本料金を4か月分無料にするという対応をいたしました。
- ・そのことによる効果というのは、結局一家庭4千円ぐらいで、それに対して総額7億円を超える金額を一般会計から水道事業会計に補助金という形で補填をして対応しました。
- ・他の自治体と競うような感じになってしまい、減免を実施せざるを得ないような面もありました。
- ・岡崎市は今年も実施するようですが、本市は、水道料金の免除よりは、もう少し的を絞った新型コロナ対策をしていかなければいけないと改めて考えております。
- ・このコロナ禍でステイホームという状況はそれなりに定着していますので、家庭での水道の使用量は増えています。一方で、事業所や学校といったところの使用量は減っています。
- ・水道料金は、安い料金区分の使用水量が増えたことで、総額で見ると減額ということですので。減額の上に昨年は、先ほど申し上げた補助金による補填という状況ですので、水道事業としては、コロナの影響はとても厳しいと思っております。
- ・御案内のとおり、水道事業、下水道事業も含めて、様々な課題がございます。水道料金につきましては、来年、令和4年度には一度見直しの議論をこの審議会ですでにいただくようお願いをすることになると思っております。
- ・市民生活に直接繋がる話ですので、なかなか難しい面もあろうかと思っておりますけれども、ぜひ忌憚のない御意見を頂戴する中で、市民にとっても、事業所にとっても、よりよい上下水道事業を目指していきたいと思っておりますので、これからもよろしく願いいたします。今日は、本当にありがとうございます。

2 審議会委員紹介及び事務局職員紹介

- ・審議会名簿により、委員を紹介
- ・事務局職員は、配席図と上下水道局の組織図で紹介に代える。

3 会長あいさつ

- ・ただいま3名の方が交代され、新委員となりました。当審議会の役割は、上下水道事業に関する必要な調査及び審議となっております。その中でも4年に1度見直しが行われる水道料金及び下水道使用料のあり方については、委員の皆様から多角的に御審議いただくことが重要であります。

- ・昨年度は下水道の使用料について、審議会から市長へ答申し、据え置きが決定されました。来年度は水道料金の見直しについて御審議いただくこととなります。
- ・今年度は、水道事業の最も基本となる新水道ビジョンの改訂が予定されているとのことです。委員の皆様には活発な御意見、活発な御発言をいただきながら円滑な審議進行に努めたいと思います。よろしくお願いいたします。

4 会議録、資料について説明

- ・会議録は、要旨をまとめたものを豊田市ホームページで公開する。
- ・配布資料の確認

5 議事

(1) 令和2年度水道事業会計決算について

○事務局

- ・資料に基づいて説明

(2) 令和2年度水道水源保全事業特別会計決算について【報告】

○事務局

- ・資料に基づいて説明

(3) 令和2年度下水道事業会計決算について

○事務局

- ・資料に基づいて説明

<質疑応答>

○A委員

- ・報告1の概況の上から5行目に飲料用循環式耐震性貯水槽整備とあるが、循環式とはどういうものか。

○事務局

- ・循環式とは、管路の一部にタンクを設け、その中を1日3回以上、水が循環する形のもので、災害時には、送水が停止しても、そこで水が給水できるものである。

○B委員

- ・報告3の下水道事業会計決算の事業概要の中に汚水処理原価という項目がある。
- ・毎年、この原価が下がっていると思われるが、実際に下がっていることとしては、営業費用の減額が効いていると思うが、他にもストックマネジメントなどによる影響というものがあると考えてよいか。

○事務局

- ・ストックマネジメント計画に基づいた、施設の点検調査を行っており、以前は管路に埋まっているマンホールポンプなど定期的に更新をしていたが、それを見直し、状態を見ながら取替えをする取り組みを始めたことの結果が出ている。
- ・また、平成初期に大規模な整備をし、その際に借金をかなり重ねてきたが、その借

金の償還が終わりかけてきて、支払利息が減少しているというこの二つの項目が大きな原因である。

(4) 新・豊田市水道ビジョンの改訂について

○事務局

- ・資料に基づいて説明
- <質疑応答>

○C委員

- ・国の動向のところで経営基盤が脆弱というのが現状と課題だが、この話は豊田市の取組には出てこないということによいか。

○事務局

- ・言われるとおり、経営の視点の部分、財源の部分が記載されていない。
- ・この改訂にあたっては、その視点を重点的に取り組んでいきたいので、次回の審議会では、経営的な部分も加えた施策体系もしくは目標というものも示したいと思っている。

○A委員

- ・報告2の水道水源保全事業特別会計の項目1の上から3行目「水道料金のうち、使用量1立方メートルあたり1円を積み立てています」と書いてあるが、この1円というのは報告1のどの数字と掛ければほぼこの数字が出てくるのか教えていただきたい。

○事務局

- ・報告1の水道事業会計決算の1事業概要の中ほどにある有収水量4,552万355立方メートルに1トン1円を掛け計算している。支払額は、2の決算状況の営業費用の原水及び浄水費の中に入っている。

○D委員

- ・豊田市水道ビジョンの改訂のところで、次の審議会までに目標数値等を明らかにするという話しが最後にあったが、国が示す耐用年数の超過率は、いくつを示しているのか。
- ・耐用年数の超過率をいくつまでに落とせばいいのか。YouTubeで、20年後ぐらいに豊田市がピークになるようなことが流れていた。
- ・現時点では8%ぐらいだと思うが、どれぐらいまで上がっていくのかを今度の審議会を出していただけるということなのか。

○事務局

- ・一点目の質問について、今、国の方からはここまでに抑えなさいといった指針は出していない。
- ・基本的に超過率が上に向いている時点で良くない。本来は下げないといけない。
- ・このまま法定耐用年数で管理をしていこうとすると、莫大な財源が必要になってきて、いろんな問題に波及していく。
- ・財源もそうだが、例えば施工業者が受注に耐えられるかということもある。

- ・次の審議会では、先ほど5.3で説明した本市のストックマネジメント計画の考え方に基づいていくと将来こうなるということを示したいと思っている。
- ・そこで上がっていったりはあまり意味がないので、長期的には下げていけるということを示していきたいと思っている。

○E委員

- ・今日の審議会の議案とは一切関係ないが、先日、中部経済新聞で豊田市の水道管の漏水調査をJAXAの衛星データを活用して行ったという記事が掲載されていた。
- ・全国で初めてだということだが、どれぐらいの費用対効果あるのか、今後、さらに活用していくのか、計画があれば教えていただきたい。

○事務局

- ・衛星による漏水調査を、昨年度、委託事業で行った。
- ・人工衛星から電波を出し、地上から帰ってきた電波が衛星写真の中にデータとして蓄積されている。
- ・水道水には塩素が入っているので、帰ってくる電波の周波数の違いによって水道水かどうか判別でき、地表から1m50cm近くまで、感知できる。
- ・1枚の写真に豊田市全域は収まらないため、全域を調べることはできないが、調べられる地区について、平成元年にとった写真のデータを使い調査した。
- ・調査により直径200mの範囲で、塩素の反応がある区域が分かる。
- ・調査の結果、566か所で塩素反応が出たが、実際には本管からの漏水だけではなく、家庭から流れる水も側溝等に入り、そういうところの水も反応するので、反応が出た所について、水道局の職員で現場の調査を行った。
- ・地区としては、556地区の内の259か所で漏水が発見された。
- ・本来、市内全域を漏水調査することになると、5年の期間と費用が掛かってくるが、現時点である程度の漏水地点が把握できたので、毎年衛星のデータを使って調査することは予定していない。
- ・今後、調査結果に基づき漏水修繕を進め、何年か経過し、ある程度修繕が進んだ段階で、また、衛星による調査なども考えていきたいと思っている。

○事業管理者

- ・山間部は漏水がなかなか発見できないが、今回の衛星による画像調査で対象地域を1割ぐらいに絞り込んで、絞り込んだところで漏水がかなり発見された。
- ・絞り込みの効果として、通常であれば5年ぐらいかけて調査するところを1年でできたというのが今の評価である。
- ・ただ、1割に絞って漏水箇所を発見できたというものの、絞り込んでない9割のところにも実は漏水はあり得るので、その発見率の違いも評価しながら、今後もやるべきとなればやるが、まだ、検証はできてない面もある。試行的にまず我が国第1号で実施したということである。

○B委員

- ・休憩中に流れていたYouTubeの動画についてだが、専門的なところからも、とても面白くてわかりやすい動画だったので、大変広報としても有効だと思った。

- ・学校の中でも、学生に教育の材料として使わせてもらう。今後もこういった動画があれば大変有効だと思う。

6 その他連絡事項等

- ・今年度の審議会開催予定について説明
- ・「水道の使用に関するアンケート調査」の実施について情報提供

7 事業管理者あいさつ

○事業管理者

- ・本日は審議ありがとうございました。コロナ禍でございますので、1時間半を目途にできればと思っていて、概ね予定通り進み、ありがとうございます。
- ・もうすぐ東京オリンピックが始まりますが、東京オリンピックの水道下水道について調べたら、東京砂漠ということが出てまいりました。
- ・東京オリンピック前の1964年は、東京が大渇水で最大50%の給水制限をし、朝と夕方を除いて昼間も夜も蛇口をひねっても水道が出ない状態であったと、水資源公団などの資料に出ています。そういった意味で東京砂漠だったということのようです。
- ・オリンピックの水泳競技は危ないのではないかと、選手村に水が出せるのかというようなことが心配されていたのですが、直前になって、東京都として念願の利根川水系からの水を暫定的に荒川に導水することができて、事なきを得たというようなこともあったようです。
- ・下水道も水洗便所はなかったし、隅田川は、どぶ川で悪臭がひどいところで、下水道整備を進めたのも、東京オリンピックが契機だったということです。東京オリンピックのレガシーの一つは水道、下水道ということのようです。
- ・なぜこの話をしたかということ、やはり水道、下水道というのは何かことが起きないと、なかなか大変だとわかってもらえないというところがございます。
- ・皆様に会議開始前に映像を見ていただきましたが、水道水源保全基金につきましては、ビデオを作りましたし、水質管理についての動画など3本作っています。できるだけ市民の皆様に映像を見ていただき、水道事業について、わかってもらおうとしています。
- ・また本年、豊田市は市政70周年を迎えましたが、ちょうど市政施行後に水道事業は始まって、昭和31年に給水したということもあるので、広報7月号で水道について特集させていただきました。
- ・渇水や災害があったときに給水などいろいろな面で事業者だけではなく、利用者や市民の方々と一緒に水道守っていかなくてはならないということがあります。
- ・そのあたりは水道のPRをしていきながら取り組んでいきたいと思っています。
- ・先ほど話がありましたように今後水道ビジョンの改訂について、それを御審議いただき、また時期的に次の水道料金改定の審議ということが参りますので、そこに繋げていきたいと思っています。

- ・お手数かけますけれども、こういった場で忌憚のない御意見いただければと思って
います。今日はどうもありがとうございました。

午後3時00分終了